

平成23年度 杉森中学校 第4回学校運営協議会 会議録

日時 平成 22 年度 7 月 13 日(水) 17 時 00 分～19 時 00 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者 《協議会委員》 石田 壽文
高崎 彰
伴野 博美
大川 洋
安藤 雄太
岡田 円治
松本 美智子
大熊 康子
由井 営太郎



大橋 亮介(校長)



《杉森中学校事務局》 田邊 克宣(副校長)
白井 克幸(教務主任)
松尾 宏(生活指導主任)
金子 敏治(進路指導主任)
傍聴 PTA 広報より 3 名
佐藤・宮下・岩崎

本年度運営協議会の公募の委員さんとして「由井 営太郎さん」をお迎えいたしました。杉森中学校のためにご協力いただければと思います。

みなさん、はじめまして。由井と申します。少しは卒業生として母校の役に立つように、と思っています。私は杉森中に昭和 34 年に入学しました。前の古い校舎で、確かプールができたころだったと思います。今は新しい校舎になり、大変かわってしまいましたね。

現在高円寺北2丁目にすんでおります。区立杉四小に子どもがお世話になっていたので、ずいぶん長いこと評議委員をしていました。仕事は建築と設計(2代目)です。地元にあずま通り商店会というのがありまして、そちらの商店会長・阿波踊りや大道芸などのイベントを企画をして高円寺を盛り上げていこうと思っています。

今年で 65 になり、敬老の仲間入り…ということですが、身体も元気ですのでこれからもまだまだ杉森中学のためにがんばりたいと思いますので、どうぞよろしくおねがいたします。

ではみなさんからご挨拶を…

《役員自己紹介》

14 年前に杉森が土曜日学校に立ち上げました。その時の第一回土曜日学校でオープンスペースにあるベンチを由井さんをお願いして作ったんです。一緒にベンチを作ったことを思い出しました。

あずま通りの会長さんをなさっているとのことですが、全国的に有名な「森ガール」発祥の地ですよね？

よくご存知ですね。ヒラヒラした洋服を着て歩いている女の子が妖精のように見えるということで、芸能人の方が名づけたようです。たまたま、あずま通りにあるお店にそのようなお客さんが集まっていたというので、あずま通りが「森ガール」発祥の地となったようです。それ以上のことはわかりませんが(笑)

司 会 校長先生より報告をお願いします。



校 長 では概略をご報告します。職場体験 5 日間が無事に終わりました。後ほど金子より報告してもらいます。三年生は進路選択に向けて三者面談をしています。決定時期に向けて勉強やそのほかの事にも悩む時期だと思います。先生方も学期末ということで生徒・保護者のために色々やっています。

20 日が終業式です。その後、夏季休業中にはパワーアップ教室・補習等も入っています。イングリッシュサマーキャンプが 7 月 27・28・29 日の二泊三日、杉並区の研修施設「秋川荘」で行われます。教員は毎日出勤しており、研修に参加する教員もいます。5 日間の夏季休暇を有効活用しリフレッシュしてもらいたいです。

大きな事故もなく 1 学期が修了したので、残りわずかですが、夏季休暇にむけて無事に過ごしていきたいと思っています。

副校長 子どもたちの様子ですが…7 月 2 日、中学生レスキュー隊の活動、阿佐ヶ谷中学で発足式がありました。第 1 回の訓練をおこなってきました。本校はレスキュー隊の昨年応募がなかったということなのですが、3.11 の震災の影響なのか今年は 1 年 5 人・2 年 2 人の応募がありました。いずれも初年度ということで参加がありました。

AED の操作やポンプの放水椅子や毛布を使つての搬送訓練など意識が高く、自分から手を上げて取り組んでいました。

校長の方から支給された帽子の引渡し、任命式を朝礼で行いました。全校生徒にも紹介されました。

7 月 9 日、杉一小の盆踊りがありました。ボランティア 34 名。当日の準備・踊り・後片付けまで手伝っていました。昨年と違うところとしては昨年までの支持待ちではなく、自分から取り組もうという姿が見受けられました。輪の中に入って踊る姿もよかったです。

中学生の男子が盆踊りの 2 重 3 重の輪の中に入って踊っている姿など、素朴でいいな…と思いました。

ボランティアだけでなく、後ろにある絵などは美術のシェーベリンが指導して盆踊りのポスターを作りました。いずれポスターは校内に展示する予定です。

副校長

節電の話は校長から朝礼で話がありました。エアコンはつけたけれど過度に使うことがないように、教職員を含め節電につとめたいと思っています。

今回 PTA 広報の方にきていただきましたが、レスキューの時も写真を撮りに来ていただきました。写真や編集でプロとして活躍している方もいらっしゃると思います。

今回の傍聴も第二号にむけて学校運営協議会との連携という事です。

A委員

今年からクーラーが入りましたが、去年との違いはありますか。

教務主任

教室にクーラーが入りました。節電ではありますが、クーラー効果はかなりあるといえますね。去年と比べたら授業効率の面では大いに変わったといえます。教室はクーラーが配備されましたが、まだ美術室や理科室は今日なんか 40 度位の室温になってしまいます。

司 会

普通教室は何度なんですか。

教務主任

設定は 28 度 29 度です。性能がいいですが、室外機が西日の当たるところにあるので覆いか何かできないものかと思っています。

特別教室は少人数などでも利用するので、設備を整えてほしいですね。

夏休みと 9 月の予定表をお配りしました。7 月 21 日から体育室で床の張替え工事があります。4 週間かかる予定です。床を削ってその上にコーティングします。その間部活は外で行ったり色々工夫して行います。ESC 事前学習・各学年でパワーアップ教室の計画が進んでいます。

9 月 13・14 日に 1 年生が、相模湖プレジャーフォレストで行われます。9 月の 5 日間は学校選択制に伴う学校説明会があります。9 月 17 日午後に説明会があります。15 日から 22 日が学校公開期間です。3 年の修学旅行です。9 月 28 日から 30 日。初日は明日香に泊まります。2 日目は奈良を中心に京都へ。3 日目は京都です。

修学旅行は事前学習などのすべての取り組みをしています。明日香や京都の事前学習が掲示されています。

司 会

コミュニケーション授業についてお話いただけますか。

生活指導

スクールカウンセラーの方が各学年各クラスをまわって、人とのコミュニケーションのとり方などを体験をまじえて授業してもらいます。年一回、各学年、ひとクラスずつやっています。

生活指導 盆踊り等で地域の皆さんによって、中学生が活躍する場を作ってく
ださっています。

当日どうなることかと見ていましたが、大人に認められるというこ
とで、嬉々としてボランティアしていました。また来年度も次の学年
に引き継いでもらいたいです。

夏休みの過ごし方のプリントを配って私からも話しをするのですが、
内容としては「攻撃」と「守り」ということで話す予定です。

攻撃…自分で何か体験して実につける
守り…誘惑・災害に対する守り
有意義な夏休みを過ごせるように。

最近の様子では、エアコンは入ったが校庭がものすごく暑い。杉森
のスプリンクラーは旧式で、蓋を開けてホースをさしてからボタンを
押す方式。毎年のように壊れて修理しています。毎年体育としてお願
いしているのですが…。調子が悪いときはコーンに水を汲んで巻いて
いる状態です。部活はほとんどの部が3年は引退してしまい新たに
1・2年生の編成でスタートしています。

B委員 先ほどの盆踊りボランティアですが、踊りも前に出てちゃんと踊っ
てくれました。提灯のかざりつけなどもとても一生懸命にやってくれ
ましたので、一言ご報告申し上げます。

生活指導 見に行った時に、準備がてきばきと早く終わったとの報告をうけま
した。

A委員 スプリンクラーの改修はどれくらいかかるんですか。

生活指導 とても高額なようです。3千万位…。

C委員 すべてのシステムを取り替えなくてはならないんですか。

教務主任 そうですね。何千万単位のように。

A委員 フェンスのときはすぐに工事をしてくれましたよね。スプリンクラ
ーの話はCSできちんとしていかないと…。

教務主任 故障ばかりしているので、今のままで水撒きをしていたら、腰を痛
めてしまいますね。

A委員 よその学校との差をなくすように改善しないといけないですね。

司 会 夏休みの災害対策も考えていただきたいですね。

生活指導 学期末に区のほうから配布物がきているので、そこで話しをする予
定です。

進路指導 イングリッシュ・サマー・キャンプ(ESC)を毎年行っています。

進路指導

1 日 2 日目に外国の方と様々な英語活動を行い、3 日目に 5 人ずつのグループで英語劇(5 分位)を行います。

職場体験では、大きな事故もなく無事に終わりました。色々なご意見をいただいたので、しおりに災害時の対策なども載せました。

今回は電話を生徒がかける(自主性をもたせるため)という所から始めました。職場体験のしおりも区からもらえるのですが、自分たちで作りました。杉森中独自のものです。心構えや体験先で何を考え何を見て、今後につなげていけるのか…。まとめの新聞作りは 3 時間しかないので、心配していましたが報告書を書かせて新聞に載せるようにしてあります。取り組みも真剣でよかった。報告書からも彼らなりにまじめに取り組んで考えてまとめられています。

私も体験先の本屋さん(新宿・中野など)を見て回ったのですが、「歴代で一番いい生徒ですね」といわれました。

コーヒーの販売店では、お客様から「こういう立派な青年は久々に見たよ」と声をかけてもらった。彼らなりに一生懸命やったことを認められた。

なかなか去年と同じ職業に行った子はいませんでした。新聞は 9 月に展示予定です。

司 会

職場体験についてご意見・ご質問をどうぞ。中には実際に見た方もいらっしゃると思いますよね。

A 委員

私も朝 8 時半にアポをとって新宿駅東口事務室に行きました。情報管理室(モニター室)に行ったら生徒が二人いました。駅員さんにお話を聞いたり、お客様へのご案内の放送を体験させてもらっていました。子どもたちに聞いたら、大変に充実した体験だったようで生き生きしていました。改札なども一通り体験させてもらったようです。最初に挨拶に来たときには私服だったので、その時には注意をしました。学校の服装は自由ですが、体験では白いワイシャツにズボンというきちんとした服装でした。新宿駅の方に聞いたところでは、6 月 7 月には 3 校位体験にきたが、8 月はどこもこないということだった。夏休みに体験するのもいいのでは。

その足で杉並警察署に行きました。ちょうど生徒がパトカーに乗っているところでした。前日は鑑識で指紋の事等を説明してもらったようです。杉森近くの「ニュートンの林檎」も行きました。「大変いい生徒さんですね」とお店の方がおっしゃっていました。高円寺の中通商店街のサンクスでもユニフォームをきてがんばっていました。どんどんお客さんがきて仕事をするという感じではありません

でしたが。

「ガストへ行って調理場に 2 日間いたけど大変だった」という感想も聞きました。

ノートをうまくまとめてくれるといい成果がでたと言えますね。

司 会

他に何かご意見ありますか。

C 委員

「今、職場体験の子どもを受け入れています」「職場体験協力中」というような表示を事業所さんが出していたりしますか？

D 委員

「阿佐ヶ谷駅のスターバックスでは、黒板に何月何日から杉森中の生徒が職場体験をしていますと書かれていました。偶然目に入っただのですが、それを見てとてもうれしかったし、ここ数年職場体験を続けている中で、受け入れ側もこんな風にしてきているんだと今年あらためて感じました。

C 委員

地域の人も含めて、子どもたちを見守っている…そういったメッセージが伝わるようなものを教育委員会が作ってくれて(出したくない事業所もあるかもしれないが)掲示したらよいのではないかと。

E 委員

8 日金曜日に私も 2 箇所いってきました。高円寺図書館に行ってもやはりジーンズに T シャツという普段着だったので少し違和感がありました。仕事をしているのか、その辺の中学生在がきているのか見分けがつかない。名札をつけたり、エプロンをしたほうがいいのではないのでしょうか。仕事は返却された本を分類番号順に書架にもどしたりする仕事をしていました。図書館の方にインタビューしたところ、やはり 5 日間のほうが良いとの事。理由は 5 日あれば、自分から仕事ができるようになるからとおっしゃっていました。

阿佐谷幼稚園では女子が 5 名、子どもたちの世話を焼いたり、歌ったりしていました。その日はちょうど近所からいただいたという竹を使って素麺流しをやっていました。

園長先生にインタビューさせていただいたところ、園児にとっても生徒にとっても、兄弟姉妹が少ない時代なのでお互いによい体験になるのでは…とおっしゃっていました。子どもたちの世話だけでなく、後片付けや次の日の準備もよく手伝っていた。杉森中は近いので職場体験後もつながりが持てるのでは。との事でした。

B 委員

阿佐ヶ谷の駅前コンビニと「ニュートンの林檎」と新宿駅に行きました。コンビニにはセブンイレブンのグリーンのポロシャツのユニフォームを着せてもらって非常に楽しげにやっていました。

大川先生がおっしゃっていたように「自分で体験先を決める…ということだったので、どうしても中学 1 年生では職場としての

B委員 領域がせまいかな…と思いました。JR など自分で発掘したお子さんもいますが、サービス業が多くなってしまうのを見ると、2年生の意識の中での職場というのは限られているんだな、と思いました。次年度はもっと職業感が広がるといいですね。

進路指導 新宿駅では服装は保護者も気になって、後から持っていた方もいたようです。駅が広いので、届けるにしてもなかなかめぐり合えず、大変だったようです。服装は、体験前に注意してあげるとよかったですね。

服装については、事前確認の時には準正装で行った際に、事業所の人が「普段着ている服(準正装)でいいですよ」と言ったのを普段着ているジーンズなどでいいと思ってしまったようです。

名札については学校の方で「杉森中学校 職場体験中」という名札を渡してあります。事業所によっては独自のものをつけているかもしれません。

司 会 商店街では職場体験をどう思っているのでしょうか。

由 井 商店街連合会では職場体験の話はでないですね。昨年と一昨年、個人的には高円寺中のお子さんをお預かりしました。職場体験のなかで、何か一つ物を完成させるという目標を持たせて体験してもらいました。私の感想では、みんな非常におとなしいですね。できすぎるくらいおとなしいです。もっと活発でもいいのに…と思いますが。

一緒にラーメン食べながら話してみましたが、地元のことを本当に知らないですね。仕事の合間に高円寺の商店街やお寺神社。高円寺北二丁目にある防空壕(個人のお宅です)なんかに連れて行きました。

高円寺の商店街全体で…というのは難しいけれど、直接お店に頼んで受け入れてもらうというのはできると思います。

F委員 職場の領域が狭いというお話でしたが、例えば大学教授や教職課程の授業などでも、色々アレンジできると思いますので色々聞いていただければと思います。

生徒がおとなしいというお話でしたが「異年齢の人とのコミュニケーション」というのも大事な職場体験の目的でもありますね。

職場の人にインタビューするなど気軽にコミュニケーションできるような仕掛けがあるといいなと思います。

文章に書いていただくのもいいですが、インタビューという形もいいのではないのでしょうか。

家庭との連携が少し気になりました。「保護者の方から」のところを書くところもあるのですが…。

	親の職業観というのを事前に話してもらうというのもいいかもしれません。大学生でも親とそういう話をあまりしないようですね。 職場体験報告会があるといいのではと前々からお話ししていますが。 そういう計画はあるのでしょうか。この働く十則とは？
進路指導	働く十則というのは学年主任が考えたものです。体験先の方にも目を通していただき、さらに子どもたちに還元されていけばいいかなと思いでこのノートに載せました。 職業観が狭いということだったのですが、子どもの中では職業調べの時とうまく職業観がつながらなかったのかもしれない。 5 日間遅刻せずに行く。交通費も負担にならないようなるべく近くで…ということもありますが。
G 委員	職業調べと同じところに 2 年生で必ずしも行かなくてはならない理由もないのですが、実は職業調べと同じところで体験できた生徒はあまりいないようですね。 受け入れてもらえない…ということもあるのでしょうか。半分くらいは調べたところに行ったというのならわかりますが、ほとんどが違う場所での職業体験になってしまう理由は何かありますか。
進路指導	正確な数や、子どもの生の声などは、アンケートをとったりしてこれから聞く予定です。 テレビ局関係はなかなか難しくて断られました。
D 委員	息子のときは厚い区からのノートだったのですが、その時は決まったところしか記入できなかったようなのですが、杉森中で独自に作ったものだと、各分量も丁度いいと思います。どのページも読みやすく働く十則もわかりやすくよかった。 職業の領域が狭い…という所ですが、来年は CS 委員の協力でもっと違うジャンルのものを増やせるのではないのでしょうか。子どもに見つけなさいというだけでは、なかなか難しいものがある。商店街や CS 委員のつてを使って協力して新しい職業を開拓していけばよいのではないかと思います。
司 会	先生もカメラを持って地域をまわられていました。これからも職業の幅が広がっていくといいですね。職場体験には隠されねらいがたくさんあると思います。生徒や先生方がこの地域について理解するきっかけになってほしい。また受け入れる側が今の中学生を理解してくれば…お互いにいいですね。 例えば図書館などで、採用されるかどうかは別として「このコーナーはあなたたち中学生ならどんな風に作る？」と聞いてみたりするの

司 会 はいいいかなと思いました。幼稚園で話題になったのは震災時の避難場所のことですね。区のほうから指定されているのは馬橋公園だが、実際に震災が起こったときに非難するのはやはり杉森中になるのでは。合同で訓練などしていけばよいのではないのでしょうか。

生活指導 3年前は職場訪問をやっていました。そのときに大変だったのは事業所をお願いすることでした。区から依頼があるものだと思っていたのに受け入れてもらえなかったり…。

今回うまくいっているようですね。今後色々紹介してもらえれば選択肢が増えてサービス業以外の体験先もできそうですね。

F 委員 地域のよい人とつながるといことは学校の教育力を高めることになりますね。記録やデータベースをとっておくのが大切だと思います。

B 委員 こうしてお話しを伺ってみますと、地域と学校と生徒と先生…という形は見えてくるのですが、そこに保護者のかかわりが見えないですね。もう少し保護者が意識して入ってこないといつまでたっても学校任せ地域任せになってしまう。もう少しスキルをあげて取り組んで保護者の係わり合いをもって実施したほうがよいのでは。

司 会 ありがとうございます。また色々教えてください。

では、広報や支援本部から何かありますか。 《事務局退室》

E 委員 和田中の協議会を傍聴にいつてまいりました。年に4回の第一回目です。会長を決めるということで、だれも挙手がなくて校長先生が会長になっていました。実際に子どもたちを知っているし教育委員会に色々意見を言えるとの事でした。さらに委員と準委員がいました。その準委員の中の保護者が文科省の方でした。(中小教育局)

司会は副校長先生になっていました。校長先生が教育方針をパワーポイントでわかり易く説明していました。部活動で数学部を作っているが、なかなか数学が苦手な子が入ってくれないようです。

キャリア教育では世の中科で社会のしくみを学んでいるそうです。生徒による学校評価を年2回とっている。

I C T教育に力を入れているそうです。パソコンを使ったデジタル授業で、フューチャースクールモデル校として手を上げているそうです。アイパッド40台を購入し、クラスで使っているそうです。

B 委員 DSはどうしているんですか？

E 委員 DSも使っているようです。

A委員
校 長

和田中は杉並区の中でも公立にはない独自のケースが多いですね。
和田中は「公立でもこういうことも可能だ」という一つのモデルケースということで見ていただければいいと思います。テストケースといってもいいと思います。いいものは取り入れるということです。

司 会

1年生の成績はみんな良いようですね。近隣の小学校がこの2年間で学力アップを図っているようだという話を代田校長先生からお聞きしたことがあります。

校 長

それは大きいとおもいますね。杉並は連携を越えて一貫を推進しようとしています。小学校と中学校が密に連携することが大事になってきます。中学校で弱いところを小学校できちんと抑えておいてくれると、まず中1ギャップがなくなっていくですね。これは生活指導でも同じことが言えます。生活指導がよくなれば、成績もよくなってきます。小中で言葉や表現の違いはあっても、同じスタンスで指導していくということが続いていけば、効果があると思います。とても大事になってきます。杉森もこれから杉一、馬橋と一緒に取り組んでいく必要があります。

B委員

先日地教懇に出席しました。今回は東日本大震災にボランティアで行かれた方のお話を聞きました。とても臨場感のあるお話しでした。2回行かれているそうですが、現場の状況はテレビなどとは違う、というお話でした。三回目は杉並の子どもを連れて行きたいということでした。先日天沼小の子が2人説明会に来ていましたが、その子たちに「なぜボランティアに行きたいの？」とたずねたところ「私たちが大きくなって子どもや孫に、長崎や広島と同じように教科書に載るだろう、自分の目で見て耳で聞いたことを伝えたい。東日本大震災があったところに立ったんだ…と伝えたい」その子の母親がご家庭で「東日本に家族旅行で行きたい」といったときに父親は「ぼくは旅行ではいけない。ボランティアというのは個々に自分の気持ちで行くものだから。子どもたちが自分たちで行きたいというならいいが、物見遊山ではない」という意見をいったそうです。このように茶の間で話し合われているからこそ、この子のような発言がでてくるんだろうと思います。職場体験でも学校任せ・地域任せというのでは本当の意味の職業観なんて、たった5日では生まれないと思います。

また、災害を受けた方には義援金が使われるが、ボランティアには何もないことを知りました。私も側面支援をしたいと思ってその場でお話ししましたらすぐに杉森中のPTA会長さんが飛んできてくださってご賛同いただきました。ありがとうございました。

司 会

ボランティアの方がビデオを見せてくださいました。生の現場の様子や、ビデオをとっている人の息使いまで伝わってきました。

行政ばかりではうまくまわっていかないので、自宅支援をするには小さいバンでまわらなくてはいけないのですが、そのガソリンを自費でださなくてはならないという問題もあります。

今動いている人達を支えるようなものがあればいいのですが。とても感動的なビデオで、私も何か手伝えることがあればと思いました。

C委員

現地には色々な人が入っています。今は夏休みになりたくさんの方の大学生が活動しています。被災地の方がボランティア活動をしているという状況になっています。早いところは徐々に立ち直っていますが、まだ手のつけられない気仙沼、福島の一部などがあります。

義援金とよばれているものが配られていない。支援金は別にあつめているので、企業の財団が集めたお金もあり、かなりの金額があつまっていて活動しているところに配られているとおもいます。

9月か10月位が境目でボランティアの数が減り、雪が降ってくると交通が遮断され、今度はそちらの支援も必要になってきます。

3回目に杉並の子たちが参加できたらいいですね。これだけ大きい被災をどれだけ忘れずにいるかが大切ですね。

支援金ではボランティアの活動費・物資金出していたり、奨学金のように出したりしているところもあります。

司 会
校 長

他に何かありますか。

予算計画案ですが、最終予算案については調整をしたものを後ほど提出いたします。三浦教諭が絵本を使って道德の授業をしたのですが、絵本を題材に大きくなるということは…ということを一枚ずつ見せながらの授業でした。忍耐・努力・理性・義務・挑戦など…が読み取れる絵を子どもたちに見せていろいろ書いてもらうというものでした。

非常に良い授業でした。それを回収したものをまとめたプリントをお配りしてあります。道德は副読本の教材でなければ…というのではなく、映像・音声・人の話など、紙の上で形にならなくてもよい授業はできると思いました。

司 会

では次回の定例会は9月21日(水) 10月13日(木) 11月16日(水) 12月14日(水)を予定しています。